

奈良県指定文化財調査票

調査日	2020 年	10 月	14 日	記入者	垣内 博久
調査者名	石井	垣内	久門	鶴田	

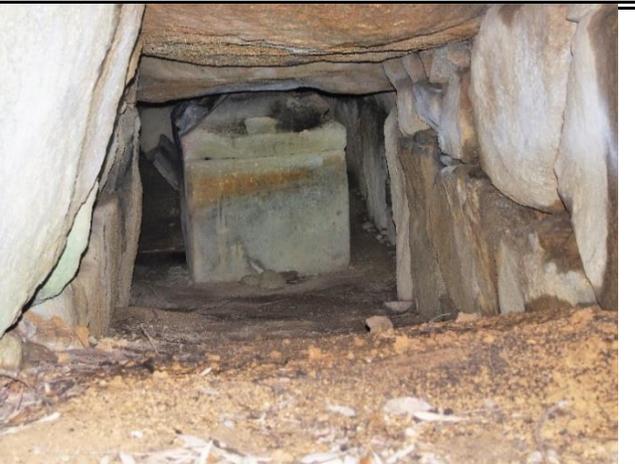
文化財名	新宮山(しんぐうやま)古墳				
種類	<input checked="" type="checkbox"/> 史跡	<input type="checkbox"/> 名勝	<input type="checkbox"/> 天然記念物	<input type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他 ( )
指定年月日	1980年(昭和55)3月28日				
所在地	御所市稲宿				
所有者 管理者	個人				
員数	1基				
時代区分	6世紀後葉				
樹木の場合	(樹木名)			(樹齢)	
案内板の状況	概ね良好(道案内も設置されており、説明板も良好。名称板は支柱がなくなっている)				
公開	原則非公開				
保存状態	<input type="checkbox"/> 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> 良い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い
	補足 ( )				
当面の課題	個人所有地の古墳で現在は施錠。鍵は御所市文化財課で保管。原則非公開としているため現状問題はない。				
今後の課題	古墳までの登坂路も枯れ葉が積もっているが整備されている。古墳入り口の上部左が若干崩れあり。個人所有のため、登坂路や墳丘や古墳内部に崩れが起こった時、修復が適時にされるのか不安がある。(個人では無理)				
その他 (由緒など)	稲宿の西南の丘陵上にある円墳(前方後円墳の可能性も)で巨勢山古墳群中の一基。玄室奥壁に吉野産の緑泥片岩の箱型石棺(側壁と蓋石に分解)、玄門部に兵庫産の竜山石の刳抜式家形石棺がある。盗掘により副葬品は不明。格上の繰抜式石棺が手前にあるため、二つはほぼ同時に埋葬されたものとされる。				
コメント	非公開のためか良い状態で保存されている。立派な石室で広く見て欲しい気はあるが、私有であり、登坂路の維持整備もあり課題がある。誰も入って来ないのでこうもりと蚊が共存していました。				

奈良県指定文化財調査票(写真)

調査日	2020年	10月	14日	記入者	垣内 博久
調査者名	石井	垣内	久門	鶴田	

文化財名	新宮山(しんぐうやま)古墳
------	---------------

道案内	説明板
 	

入口	羨道側から
	

奥壁側から	奥壁に向けて
	